



〒892-0841 鹿兒島市照国町13-42 カトリック鹿兒島司教区 電話099(226)5100 振込口座 02030-2-8359 編集発行 教区広報部 1部60円年間千共1100円

道標



## 高齢者が支える教会経済の実態顕著

### 教区評議会でも各小教区が苦しい現状を報告

「教区財政を知り、考えよう」をテーマに十一月三日(水)にザビエル教会と教区本部で開かれた教区評議会では、各小教区の代表者たち八十人が財政という生々しい議題に真剣に向き合い、互いに小教区の現状を分かち合い、その後の分団会で小教区の、そして教区の財政と宣教に対する教会の理想の姿を探った。

午前十時から始められた教区評議会の冒頭、挨拶した郡山司教は「赤字解消は大切なこと。しかしどんな教会であるべきなのかというビジョンが大切。どのようにならなければならぬかを神の計らいの中でこの窮地を乗り越える方法を考えて欲しい」と話した。そして各小

教区から、教区評議会まで小教区で話し合われたことと小教区の財政に関する現状が報告された。この報告で分かったことは、どの小教区でもミサ等の共同体活動に加わる信徒数が減っていること、そして活動に加わっている多くが高齢者で、その高齢者が支払う教会維持費で小教区



が支えられている現状が浮き彫りになった。そして

どの小教区も将来に不安を感じているという実態がはっきりした。

各小教区からの報告がされた後、郡山司教と教区会計担当の中野神父が出席者からの質問に答えた。

教区の今後のビジョンに対する質問に答えた司教は、現時点で小教区の統廃合や共同司牧を考えて

## 三巡回教会が浸水被害に

### 10・20奄美集中豪雨で

十月二十日(水)から奄美大島を襲った集中豪雨は被害総額は百億円超という凄まじいものでカトリック教会関係でも、三つの巡回

ないことを伝えた。その上で「たとえ小さくても教会は『宣教基地』。地域に向かつて福音を宣べ伝える使命を持つている。司祭ももちろんだが、信徒が最前線で働くという意識をもって頑張りたい。支出を減らすのも一つの赤字減少のための手段。それよりも宣教司牧費を僅かしか予算に組めない、司祭の生活を支えられない現状を変えられようと考えて欲しい」と述べた。

また教区財政の赤字減少のための施策についての質問に答えた中野神父は、郡山司教が教区長に就任して以来、かつての教区財務委員会に代わり「経済問題評議会」が設置され、司教、司祭、信徒の代表で教区財政を考えるようになったことを報告。また今回の教区評議会でも出された意見も経済問題評議会でも検討していくことを伝えた。

その後、出席者たちは十のグループに分かれ、あらためて小教区の現状報告や教区のあるべき姿についての話し合いを行った。グループ毎に話し合われた内容は、その後の全体会で発表されたが、これらの意見は執行部でまとめられ、司祭評議会や経済問題評議会でも話し合われることになっている。

記録する集中豪雨に襲われました。その後の被災状況については新聞、テレビ等でご存じだと思います。被害を聞いて県知事はじめ防災担当大臣、内閣府副大臣等が来島し視察をされました。県は災害対策本部を設置し、復旧・復興に当たっています。被害は国道・市

町村道の寸断、電力・水・電話等のインフラ、家屋の全壊半壊、床上・床下浸水、土石流による災害等、その他農林水産業、観光事業に及んでいます。被害総額は百二十一億円。復旧には、県警、自衛隊、その他のボランティアア団体が取り組んでいます。

## 新風

「リレーつばめ」とは周知の通り、鹿兒島と新八代間を九州新幹線が、新八代と博多間を在来線が担っていた特急のことです。しかし、このリレーつばめの存在はあと四か月に限りです。来年三月十二日には九州新幹線がフル規格になり「新幹線つばめ」になるからです。

JR九州は、乗客を一つの電車が運ぶことをリレーと命名しました。リレーという競争もそうです。複数人のランナーがたすきを連携してゴールまで運ぶ競技です。ところで、運ばれる乗客、運ばれるたすきを私たちの信仰の世界で考えてみれば、たすきは信

## リレーつばめと信仰の伝達

仰ということになります。親から子へ、子から孫へと信仰は伝達されます。しかし、この信仰は遺伝子のよう自動的に伝達されません。自動的に伝達されるのは原罪です。従って信仰には個人の受容、つまり個人

さんは勘違いをされているのです。「信仰は自己決定に基づくものであって、自然的な遺伝子ではない」ということです。繰り返しますが、リレーつばめは新幹線が在来線に乗客を委ねています。新幹線は速く、在来線は精いっぱい走りますが遅いのです。それは敷かれてあるレールの規格が違うからです。この違いを認識しながら、乗客を相手に委ねるのです。

幼子イエスをお迎えする季節に入りました。父なる神はわたしたちに御子を新たに委ねます。新たに、というのは毎年イエス様を人間として生まれさせるといふことです。御父は在来線のように鈍い私たちに信頼して御子を委ねるのです。(H・N)

## 良書紹介

### 「カトリック教会の諸宗教対話の手引き 実践Q&A」

日本では家族全員がカトリック信者である割合は非常に少ないのが現実です。従って、社会や家庭の中で他宗教の人のお付き合い



「お彼岸やお盆のときはどうしたら良いの?」「他の宗教の冠婚葬祭に出席するときは?」「先祖の墓と供養はどうすればいいの?」などの質問に適切に答えているのがこの本です。日本の司教団が確信を持って発行しているこの本の指示に従っていただければ私たちの信仰は安心です。各家庭に是非一冊お備えください。お求めはザビエル書店で! 出版 カトリック中央協議会 協賛会 定 価(本体八百六十円+税) 英語版もあります。

## 報告

浦上教会 平 三國 十月二十日、奄美大島は災害救助法が適用されるほどの観測史上最多の雨量を



### 1 カタリナ永俊尼の生涯

カタリナ永俊尼の「カタリナ」という名前は、キリシタン名、つまり洗礼名です。カタリナは英語でキャサリンとしますが、ラテン系のことばでは、カタリナと呼ばれています。ラテン語の原意ギリシャ語において、カタリナは「純粋」、英語でいう「pure」を意味しているそうです。カタリナの名に違(たが)うことなく、カタリナ永俊尼は、七十五年の「純粋な信仰」の生涯を貫き通したといえましょう。

キリシタン大名小西一族の出身であったカタリナは、一族の熱心なキリシタン信仰の雰囲気にも包まれました。少女時代を過ごした。カタリナは、キリシタン信仰によって育まれていったのです。それに加え、彼女自身の強い性格(気質)があいまって、キリシタン信仰は、さらに揺るがぬ信念へと昇華されていったのです。

長じて島津一族の島津清に嫁いだカタリナは、島津一族とその家臣団に、キリシタン信仰の種を蒔いていきました。やがて、忠清との間に生んだ娘・桂安が十八代薩摩藩主・家久の夫人となり、継嗣光久(十九代藩主)を生んだことによつて、カタリナの身分は揺るがぬものとなりました。

孫娘のお鶴、お満津などの身内はもちろんのこと、薩摩藩内の多くの家臣が、キリシタンになつていったことが知られます。また、カタリナはキリシタンとして薩摩の人々に影響を与えただけでなく、「藩主家久の義母」「嫡孫光久の実祖母」として、関ヶ原の合戦で豊臣方に加担し、徳川幕府から快く思われていなかった薩摩島津家が立ちいくよう、幕府の心証をよくするように、尽力してもいたのです。

カタリナは薩摩藩内にあつて政治的にも隠然とした勢力を有し、藩主家久をはじめ家臣たちから多大な尊敬をかちえていたともいわれています。鎌倉時代に

ナの研究の第一人者・茂野幽考氏は、「日南切支丹史」「切支丹風土記」「薩藩切支丹資料」において、述べられています。行長の子供としては、男は、長男・兵庫頭(十二歳にして斬首される)、次男・秀貞(側室の子。僧侶になる)、末子・弥左衛門(黒田家臣となる)。女は、マリア(宗義智正室。後に離縁。その子は小西マンショ神父、養女おたあジュリアが挙げられています。が、この他に、名前不詳の娘が一人挙げられているのです。この女性がカタリナだったのかもしれない。また、天草の乱(一六三七〜八八年)の首領・天草四郎時貞は、行長の旧臣・益田

ナの研究の第一人者・茂野幽考氏は、「日南切支丹史」「切支丹風土記」「薩藩切支丹資料」において、述べられています。行長の子供としては、男は、長男・兵庫頭(十二歳にして斬首される)、次男・秀貞(側室の子。僧侶になる)、末子・弥左衛門(黒田家臣となる)。女は、マリア(宗義智正室。後に離縁。その子は小西マンショ神父、養女おたあジュリアが挙げられています。が、この他に、名前不詳の娘が一人挙げられているのです。この女性がカタリナだったのかもしれない。また、天草の乱(一六三七〜八八年)の首領・天草四郎時貞は、行長の旧臣・益田

## カタリナ永俊尼の信仰

### 種子島教会主任司祭

### 坂本 進

(中・①)

尼將軍といわれた北条政子に似た女傑に近かつたのかもしれませんね。それは、次のことから知られるように思えます。キリシタン禁教令が出されてきたにもかかわらず、キリシタン禁教令下二十二年(一六一三〜三五年)も

の流に基づいて記されていることが知られます。しかし、この説は、確定した説ではありません。本稿では、カタリナを小西行長の娘として、話を進めてきています。

カタリナが行長の娘であるということを主張したのは、明治時代に聖書を日本語に翻訳してくださった有名なラゲ神父さまです。ラゲ神父さまは、種子島にも来られ、いろいろカタリナのことを調べられ、結論として、小西行長の娘であることを確信されたそうです。また、小西家の資料文書の中に「行長の娘が薩摩に嫁いだ」という記載がある、ともいわれています。このことについて、カタ

甚兵衛の子ではなく、行長の次男か三男の子供だったという言い伝えもあるそうです。カタリナの父親が誰であつたか、島津忠清に嫁ぐ前に誰に嫁いでいたか、という点については、島津家の文書「旧記雑録」をはじめ、いろいろな資料によつて諸説が出されていますが、確認されてはいませんが、不詳なものです。

父親については、行長と皆吉統能を挙げる説の他に、関ヶ原の合戦において西軍に就き敗北した備前(岡山)の宇喜多秀家の家老・明石掃部を挙げる説もあります。掃部は、関ヶ原の合戦(一六〇〇年)と大坂の陣(一六一四〜五年)

桂安夫人とともに江戸の薩摩屋敷にも数年滞在できる身分を得、そこで、鹿児島におけると同じように、多くの人々に、カタリナの人格を通してキリシタンへの導きました。娘の妙身、

また、カタリナは薩摩藩内に、当然のこととして、幕府が禁じるキリシタンを信奉しているカタリ

に肩をそつと抱かれたかのように、近頃の友人に支えられつつ、やつと読み終えることができました。感謝しています。主イエスよ、来てください。主イエスの恵みが、すべての友と共にあるようにして。この525日間を亡き夫に捧げたい。

●2010・4・16～2010・9・12(鹿児島Y・T 151日間)＝今回は少し余裕があつたのか、和善で知った場面を思い出したり、考えながらまた味わい、自分にも触れる場面が度々登場したりして楽しかったです。また続けますのでよろしくお願ひいたします。感謝!

において、豊臣方の武将として勇猛果敢な合戦ぶりを示した事によつて知られています。キリシタン武將であつた掃部は、大坂の陣の後、台湾に渡つて、キリシタン共同体を作り上げたとも伝えられています。が、はつきりしていません。徳川幕府は、掃部の勇猛果敢ぶりを恐れ、必死になつて島原の乱の前まで、掃部の行方を捜し続けていたと言われています。

カタリナは藩主家久の義母、継嗣光久の実祖母になつてから、豊臣方の残党を匿っていました。特に掃部の子である小三郎を長期に渡つて匿っていました。これは、掃部と肉親関係にあつたからではないか、とも伝えられています。(続く)



### [和善の窓から] その⑭

ご降誕・年末年始に 聖書通読マラソンを始めよう!

松田清四朗神父 主のご降誕のお喜び申し上げます! 鹿児島から3人だけですが「聖書通読マラソン完走の声」をご紹介します。他の完走者の声は、通信36号に掲載されています。(申込用紙は本部三階教室にあります)

●2009・10・1～2010・7・14(鹿児島A・H 287日間)＝読み終えたその瞬間、胸の中から川のように水が流れ出す感じがして涙か滲んだ。改めて、カトリック信者だったんだという思いに至った。こういう気持ちにしてくれた聖書通読マラソンに感謝!次、読み終わった時はどういう気持ちになるか楽しみ!

●2009・4・14～2010・9・20(鹿児島S・I 525日間)＝聖書を手にして読み始めると、様々なことを思い、気が付くとだいたい時がたっていることもありました。母のことば



～和善の案内～ 〈何時からでもどうぞ〉

■○月18:30 ■○水14:00(第2,4於始良)

■○水WAZEN ころろ相談室(第1・3:要予約 = 10:10から=45分間) ■○金10:00<<いづれも本部3階で>>

◆12月17日(金)17:30「和善のミサ」(和善ブログ <http://mr826.net/wazen/blog>)

**+KABAYAN SEKSIYON+**  
**"MGA TANONG AT MGA SAGOT"**  
**T'Ang lahat ba ay may pananampalataya?**  
**S'Ang lahat ay may likas na pananampalataya, paniniwala sa isang bagay o isang tao. Ang pagsampalataya sa Diyos ay handog ng Diyos na ibinibigay Niya sa bawat isa sa iba't ibang pamamaraan. Nais ng Diyos na "ang lahat ng tao ay maligtas at makaalam ng katotohanan." (1Tm 2:4). Ngunit ang karanasan ay nagpapakita na maaring magamit natin sa maling paraan an gating kalayaan at tanggihan ang alay ng Diyos, o kaya'y lumayo tayo sa Diyos sa pamamagitan ng kasalanan.**  
**T'Anu-ano ang mga hamong hinaharap ng ating buhay pananampalataya kay Kristo?**  
**S'Ang ating buhay pananampalataya kay Kristo ay hinahamon ng:**  
 \* ating sariling kapalaluan at makasalanang pagka-maka sarili;  
 \* ang karukhaan, pagdurusa, at kawalang-katarungan ng marami na pinatingkad ng pagwawalang-bahala at masang halimbawa ng iba;  
 \* kamangmangan sa relihiyon, maling paglalahad ng Ebanghelyo, at mga kaugaliang may isahang pagkiling; at  
 \* mga paganong aral-pananampalataya at maluhong pananaw at pagpapahalagang laganap sa ating kapaligiran.  
**T'Paano nahahadlangan ang pananampalataya ng mga kaugaliang may isahang pagkiling?**  
**S'Ang labis na pagbibigay-diin sa isang dimension lamang ng Pananampalataya ay nagbubunsod sa maling paglalahad ng dimensyong ito at pagsasawalang-bahala sa iba.**  
**Kung ang Pananampalataya ay mauwi lamang sa:**  
 • doktrina, ang magiging karaniwang resulta nito ay isang dogmatismo na walang damdamin at kulang sa panalangin na walang kaugnayan sa tunay na buhay.  
 • maka-aktibistang pakikipaglaban para sa katarungan, ang pananampalataya ay nagiging isang ideolohikal at di-makatarungang paghahangad ng mga pansariling layunin  
 • mga pagdarasal, mga debosyon, at pagsisimba, ang pananampalataya'y nagiging kapalit para sa tunay na maka-Kristiyanong pagkakawangawa.  
**Sa mga katanungan na ito, marami pa rin mga Katoliko ang hindi pa lubos na nauunawaan ang sariling pananampalataya, mayroon pa rin mga pagdududa at paghahanap ng katotohanan. Kaya sa mga katanungan na ito, muli natin hihingin ang tulong ng Espiritu Santo para tayo gabayan sa paghanap ng katotohanan.**



# レオの生き方は信者の手本

## 福者レオ七右衛門殉教祭



薩摩の殉教者レオ税所七右衛門を称え、その信仰に倣おうという「福者レオ七右衛門殉教祭」が十一月十四日(日)午後、川内教会(主任司祭・橋口啓悟神父)であり、二百五十人余の信徒が参列した。

毎年、講演とミサで開催されているこの催し、今年も講演を中野裕明神父(教区本部)が担当した。中野神父は、午後一時からの約一時間の講演「聖ザビエルから福者レオ七右衛門へ」で、聖ザビエルが日本にキリスト教を伝えてからレオ七右衛門が殉教に至るまでの約六十年間の教会と当時の日本の様子を、日本各地の為政者たちの思惑を交えながら話した。中野神父は領主や権力者に取り入って宣教を容易に進めたいとい

う宣教師と宣教師の母国の戦力を味方に付けたいという為政者の駆け引きにも神の計らしいの不思議さを感じると様々なエピソードを交えながら興味深く話した。講演後にささげられたミサでは郡山司教が説教し、レオ七右衛門の人となりを表す「勇気」「物静か」「潔い」の三つの言葉に、「これこそが信者があるべき姿」と、皆に社会の中でレオの生き

## 創立五十周年を記念

### 愛と奉仕の精神を伝え続ける大口明光学園

十一月一日(月)大口明光学園(坂井美智代校長)で創立五十周年の感謝ミサと式典があり、在校生百七十人とそれとほぼ同数

方を実現するようにとメッセージを送った。ミサ後は例年のように希望者は七右衛門が受洗した京泊教会跡地へと巡礼し、そこで祈りをささげた。今年この催しには宮崎県内の中高生十七人をはじめとする県外からの出席者が多数あるなど盛況で、福者となったレオ七右衛門の新たな働きを感じる集いとなった。



大口の地に同学園が設立されたのは一九六一年のこと。市町村合併により今でこそ人口三万人を超える伊佐市だが、学園が開校した

## 司教執務室便り

### 新しい馬小屋文化を

十一月になって間もなく、商店街に早くもクリスマスツリーがお目見えした。意味も分からないまま今や国民的になったクリスマス。ところで、クリスマスツリーの起源は定かではないようだが、なぜかドイツ説が多い。日本で最初にクリスマスツリーを飾ったのもドイツ人だといふ。一八六〇年のことだといふから明治維新前ということになる。当時の人々が初めて見る珍しい飾り物をどんな思いで眺めたのだろうかと思う。というのも、その七年後にいわゆる浦上四番崩れで大量のキリシタンが捕縛され流刑にあっているからだ。福昌寺跡近くのキリシタン墓地に埋葬されている人々がそうだ。

一方スーパーで購入した教会のイルミネーションはなんとなく薄暗くて精彩を欠いた。公園の比ではなかった。それで、ある時から外観を飾らないことにした。「クリスマスは華やかさは町の人たちに任せて私たちは原点に戻る」ことにしたのだ。負け惜しみもあつたのだが、クリスマスといえど華やかさだけが優先しがちなことに改めて異を唱えたかったといふことも本当だった。救い主の誕生を祝うのだから思い切り華やかにしたいのだが、誕生の場所が貧しい家畜小屋だったことを世の中の人々に知らせるのだから教会らしくない。

先月、奄美の豪雨災害のお見舞いに行つた時、名瀬のマリア教会では道路に面して馬小屋の準備がなされていた。「今年も庭先に作ります」という主任司祭にも会つた。フィリピンで見たビジネス街のメイנסトリートに競うように飾られたさまざまな馬小屋が思い起こされて嬉しかった。そこで、クリスマスといえれば教会のイルミネーションでなく、「通りに面した馬小屋」を人々が鑑賞できる新たな馬小屋文化によるクリスマス宣教を提案したいのだが如何なものだろうか。

## 「短信」

### 鹿兒島オリブの会

心の問題を抱える人やその家族、友人がお互いの体験を話し耳を傾けることで支え合おうという「鹿兒島オリブの会」は、九月二十六日に第一回の集いを開き、今後、原則として毎月第四日曜日午後二時から教区本部二階会議室での開催を決めた。問合せは事務局・シスター沢まで(TEL:九九二五三二六六五八)

### 大熊教会召命の集い

十月二十四日(日)小中学生二十人と保護者らが集まり、大熊教会出身の泉浩二神父の講話、マザーテレサの映画、ロザリオ、聖体賛美式の「召命の集い」を開催した。



当時の大口は人口流出に悩む過疎の地だった。あえてその過疎の地での開学に踏みきり、幾度かの経営危機を乗り越えながら、校訓に「真実にして、叡知に富み、義務を重んぜよ」を掲げ「愛と奉仕の精神」を伝え続けてきた大口明光学園の足跡は偉大。郡山司教と十五人の司祭でささげられた感謝ミサ後の式典では、教皇ベネディクト十六世からの祝福が贈られるなど学園にとって大きな喜びと新たな使命を実感する一日となった。

### 南海文化賞に中村さんと白百合の寮

奄美大島の南海日日新聞社が各分野で優れた業績を残した人や団体に贈る第三十四回南海文化賞に聖心教会の中村ミチエさんと児童養護施設「白百合の寮」が決まった。

### 中村さんは女性会活動のリーダーとして活躍し、男女共同参画社会の推進や女性の地位向上に貢献した。

奄美カトリック連合婦人会初代会長、八十五歳。また一九五九年に設立された白百合の寮は、奄美における児童養護施設の拠点として、児童福祉の向上・充実に貢献してきたことが評価された。

## 12月 会と催し

- 3日(金) 聖フランシスコ・ザビエル司祭
- 5日(日) 待降節第二主日
- 7日(火) 教区経済問題評議会・教区本部・14時
- 8日(水) ヴィンセント・マン神父命日(二〇〇六年)
- 12日(日) 待降節第三主日
- 19日(日) 待降節第四主日
- 23日(木) 大野和夫神父叙階記念日(一九六一年)
- 25日(土) 有馬信茂神父命日(二〇〇七年)
- 26日(日) 聖家族
- 27日(月) 聖ヨハネ使徒福音記者
- 28日(火) 田邊徹神父、寝占敦之神父、山口好信神父、末吉卓也神父、ダウン神父霊名 幼子殉教者

## 各地の市民クリスマス

- 薩摩川内市チャリティ市民クリスマス 十二月五日(日)午後二時 場所 薩摩川内市川内文化ホール
  - 伊佐市民クリスマス 十二月十二日(日)午後一時 場所 大口明光学園講堂
  - 鹿兒島市民クリスマス 十二月十二日(日)午後二時 場所 ザビエル教会主聖堂
- 入場料 無料
- プログラム
- ①講演「神父になったサムライー坂本龍馬のいとこ澤邊琢磨」講師 及川 信師(日本ハリストス正教会司祭)
  - ②音楽 カリタス・スモール・クワイヤ
- 入場料 千円(当日千三百円)※中学生以下無料



# ドイツ・イタリアでの歌の旅を終えて

## 谷山教会の聖アルフオンソ合唱団

聖アルフオンソ合唱団 (谷山教会、総監督J・ムイベルガ神父、松澤宣生团长) は、九月十六、二十七日までドイツとイタリアの四教会でモーツァルトの戴冠ミサ曲などを歌いました。二〇〇四年に結成された同合唱団が海外で歌うのは初めてのことで、出発に先立ち、ザビエル教会でプレコンサートを行いました。市内各小教区の信徒の

方々、また団員の友人や音楽愛好家の一般市民の方々が教会は満席となり、「これならドイツへ行つて歌つても恥ずかしくないよ」と温かい応援を頂きました。一行三十一人(三人は応援)は天正遣欧少年使節(一五八二〜一五九〇年)がローマで教皇様に謁見した帰路、宿泊したゆかりの地であるイタリアはマンツバのサン・ベネデット・ポ



ランズベルクの聖十字架教会

大聖堂(少年使節の滞在を記念して刻まれた石碑や古文書館には伊東マンショが書き送った美しい筆字の札状が大切に展示されている)や日本殉教者(一七五四年にヨーロッパで初めて描かれたイエズス会司祭・パウロ三木、ヨハネ五島、ヤコブス喜齋)の天井画のあるドイツ南部ランズベルクの聖十字架教会などでモーツァルトの戴冠ミサ曲等を披露しました。

指揮は安楽晃さんが務め、音楽監督・中村かし子さん、オルガニスト・栗山直子さん、ソリスト三人(三浦かおりさん、手塚洋子さん、川野貴之さん、美代開太さん)と団員らが、二教会ではミサ中に、二教会ではコンサート形式で歌いました。ムイベルガ神父様のふるさとの教会ではオーケストラと五、六人の音楽家の応援もあり、素晴らしい交流コンサートになりました。

ランツフォートのバロックの聖ドミニコ教会は天井も壁も美しいフレスコ画で覆われています。パイプオル

### みことばシリーズ⑦

### 求めなさい、そうすれば見つかる

#### 終身助祭 久保俊弘

三十二歳の時、古仁屋高校から穎娃高校に転勤しました。そこでは「君は軟式庭球が上手いようだから、うちの庭球部をもつと強くするよ」と言われ、放課後は薄暗くなるまでテニス指導をしていました。その結果、県大会で二位という成績を収めるに至りました。

子どもも二つ違いで生まれ三人になり、その頃住んでいた町営住宅も手狭になってきた頃です。住んでいたのは枕崎と指宿の中ほどだったので、ミサは交互に両方の教会に行っていました。

でも私がテニスで県大会や練習試合に出かけるときなど、家族はミサに行かないでいました。そんな居住地です。長男は仕方なく仏教系の幼稚園に行かせていました。でもこれは駄目だと思い、指宿に引っ越そうと考え、家を探しましたがなかなか見つかりません。そんなとき妻が「コルベ神父さまに取り次ぎを頼むと良い」と言うので、三カ月の間祈り続けました。

折りが聞き入れられるためには、その願いが「神もよいと思う」ことであることです。次に真剣に、小さい声でも叫びとして伝えることです。すべてのものには時がありますから、すぐになえられるものと忍耐がいるものがあります。一人では聞き入れられないときには、他の人と一緒に祈るとよいと思います。それは「あなたたちが二人、三人で祈る時には、私もそこにいます」とおっしゃっているからです。

### 文

### 芸

#### 俳句

純心学園 山頭 信子  
南天の実はかたむきぬルルどかな  
出水市 沖 弘子  
聖堂に清閑ありて菊生ける  
純心学園 川上 和  
赤だすきおはら祭りや秋の声  
鹿兒島市 徳永ノブ子  
祭壇につらなり活かる鳥瓜  
谷山教会 井之脇ノリ子  
胃切除のダンピング後の清しさよ  
手術後の眠れぬ夜のネオンかな  
愛光園 春山マリ子  
何も無いそこには秋の幸せが  
鹿兒島市 田平新太郎  
健やかな初日の光に映ゆる峰

#### 短歌

霧島市 政 ノブ子  
復興を願ひ募金や石路の花  
大笠利 稲 牛憲  
亡き妻の時かけてためしへソクリを  
一人巡礼の旅に使はん  
鹿兒島市 田平新太郎  
水鳥の飛び交ふ眼清々しい篋のほとり  
群れあふる声も  
純心学園 川上 和  
ガリラヤの小高い丘に天の幸飢えし  
羊ら心満たせり  
鹿兒島市 前田 儀子  
ゆるやかに驚のよぎれる窓の辺に聞き  
きみるヴェルリオーズの幻想交響曲  
愛光園 春山マリ子  
人類の愛に目覚めて思うのは冷たい  
自分の他人への目

### 詩

鹿兒島市 田平新太郎  
筒形の紙のコップは馴染よい  
オランダ仕込みの言葉ゆえ  
広く使われて日本語と  
思いこませる 紙コップ  
取っ手のついた金属の  
カップと言えはイギリスから  
渡って届いた器なり  
コーヒーカップは 味の里  
グラスと言えは  
グラスで出来た コップなり  
注ぐ洋酒に満たされて  
足つきグラスは歩きだす  
折りの心が頭つき清き  
凛々しき水の香り満ちて  
朝に夕べに主を崇めん

### 「私の研究」

#### 奄美宣教の始期

##### 谷山教会 東 健一郎

① 一八九一(明治二十四)年十二月三十一日、フェリエ神父が来島された時のカトリック熱はよく知られているが、そのほかに奄美宣教の始まりの頃には次のような事実もあるようだ。當時を記した書物から見つけたのでご紹介したい。

② 一八八七(明治二十)年十月「フランス人宣教師 [Frain] Jean, Faurie 来た地にては昆虫を採集せしことあるも、奄美大島にて採集せしや否や不明なり」  
フォーリー神父は主に東京、横浜、新潟、青森、北海道で宣教された。奄美には沖縄の帰途来島されて採集、宣教もあつたと思われる。パリ外国宣教会で著名な採集家はフェリエ神父とフォーリー神父であるが、両神父とも学的採集をも使徒職に奉仕させた。

③ 一八九一(明治

### 坂本神父のホリスティック黙想「生活習慣病と信仰の訓練」

日時: 12月13日(月) 10時~12時 場所: ザビエル教会1Fホール 受講料: 500円

(出典)「大島代官記」「植物及動物」「宣教師・植物学者フォーリー神父」「鹿兒島県史」

二十四)二月「大島郡伊津部村、大熊村、知名瀬村に天主教会が創立され、これが後年大島に於ける天主教会隆盛の端緒となつた」